



協力会社ルポ

vol.190

今回は宮城県登米市に事業所を構える(有)大柳電気を訪れ、鈴木悟社長と社員の小野寺優さんにお話を伺いました。

鈴木 悟
社長



有限会社 大柳電気

ADDRESS

〒987-0602
宮城県登米市中田町
上沼字大柳104

TEL

0220-34-5836

FAX

0220-34-6813

教育の現場から電気工事の業界へ

同社は、配電工事会社に勤めていた鈴木社長のお父様である先代が、周囲の勧めもあり独立して1988年に設立。現在は、栗原営業所管内の配電部門の協力会社として、登米市ならびに栗原市を中心に鈴木社長と8人の社員が日々の業務に従事する。

鈴木社長は大学卒業後に県立高校で教鞭を執り、8年前に定年退職。その後大学院で文化人類学を学び、宮城県内の大学で講師を務めていたところ、先代の社長から声がかかり、4年前より現職となった。「父の仕事近くで見て、電気工事の業界は緊急対応なども含めた厳しさがあることを知っていたつもりでしたし、電気に触れたことのない自分がまさか家業を継ぐとは思いませんでした。社長就任以後は栗原営業所長に県内外の現場を見せてもらって、今も日々勉強中の身です」と話した。

「口酸っぱく」ではなく「会話」で気づかせる

2階建ての社屋は隅々まで整理整頓がされている。「会社の雰囲気づくりは学校の教室をイメージしています」と笑顔で話した。当初は教育の現場と営利を目的とする民間企業とのギャップに戸惑いがあったとのことだが、「仕事はみんなと一緒に作り上げていく」というイメージを持ちながら社長業に励んでいるとのことだ。

安全管理について尋ねると「注意をするときは一般的に『口酸っぱく何回も』という表現を用いることがあります。これは教員時代にも感じたことで、頭ごなしに言いたいことだけを言えば自分はスッキリするかもしれませんが、話し方やその内容によっては相手を傷つけてしまうことがあると思います。私は会話の中で『昨日こんなことがあったらしいけど、どうだった

の?』と本人に『気づかせる』きっかけを作って、安全がなぜ重要かの理解浸透を図ることが大事だと思っています」と、相手の話を聞く姿勢を重視した安全教育の工夫を語ってくれた。

社員一人ひとりのレベルアップで会社全体の底上げを図る

同社は厚生労働省の「働き方改革グッドプラクティス2021」に選出され、社員のワークライフバランスの充実を目指した取り組みを行なっている。「2024年に差し迫った時間外労働の上限規制への取り組みは現在努力の途上ではありますが、仕事とプライベートのバランスが取れること、そしてお金の豊かさのみならず心の豊かさも大事だと考えており、社員の休みはきちんと取らせたい」と力を込めて話し、2024年度には完全週休2日制となる予定だ。

また、同社では中学・高校生向けのインターンシップ受け入れを積極的に行ない、電気の魅力を伝えることに尽力している。最近では工業高校の中でも特に電気を専攻する学生が減っており採用には苦労しているとのことだが、「この業界に必要なのは順応性とバイタリティーだと思います。知識は入ってから学んだり、先輩たちから教えてもらえますが、その先輩たちの中に溶け込めることが大事です。社長の一言より一緒に現場で働く先輩の一言の方が重みがあると思いますから」と話した。社員教育では当社の研修に参加してもらいながら社員一人ひとりのレベルアップで会社全体の底上げを図っているそうで、「いずれは現在の1個班を2個班にして、安定した雇用と基盤を築き上げていくことが目標です」と将来の展望を語ってくれた。



社員の皆さん

社員へのインタビュー

小野寺 優
さん



会社の雰囲気について教えてください。

会社には笑顔があふれています。先輩方の人柄が良いので、何でも話せる雰囲気です。私は電気のことを何もわからずに入社しましたが、すぐに溶け込むことができました。何とか仕事ができるようになったのは、こうした先輩方のおかげです。新卒の社員が入ってきても、すぐに溶け込めると思いますよ。

これまでの会社業務の中で、最も印象に残った仕事や出来事を教えてください。

2019年9月の台風による災害復旧のために、千葉県に応援に行ったことが印象に残っています。他県応援もあるとは聞いていましたが、宮城から遠く離れた被災地で実際に仕事をしていたとき、「ライフラインを守る仕事に就きたい」という高校時代の夢が実現しているような気がしました。現地の方の「ご苦労様」や「お疲れ様」という一言ひと言が、今も励みになっています。

今後の目標を教えてください。

何といっても、会社にとって必要不可欠な存在になりたいと思います。電気に関する上位の資格を取得し、効率的に仕事を運べるようになりたいです。プライベートでは、家を建て結婚したので、より安定した心豊かな人生を送りたいと思います。